

## 著者紹介

### 赤澤 堅造 (正会員)

1971年大阪大学博士課程単位取得退学。同大工学部助手、講師、助教授を経て、1990年神戸大学工学部教授、2000年大阪大学工学部研究科教授。2004年同情報科学研究科教授。専門分野は生体医工学、生体情報工学。工学博士。

### 岩崎 英哉 (正会員)

1960年生。1983年東京大学工学部計数工学科卒業。1988年同大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同大計数工学科。同大教育用計算機センター助教授。東京農工大学工学部電子情報工学科、東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻、電気通信大学情報工学科助教授を経て、2004年から電気通信大学情報工学科教授。工学博士。

### 植村 俊亮 (正会員)

1966年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同年電気試験所(現産業技術総合研究所)。1970年マサチューセッツ工科大学電子システム研究所客員研究員、1988年東京農工大学教授を経て、1993年から奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。データ工学、データベースシステムの研究に従事。工学博士。IEEE Fellow、電子情報通信学会フェロー、データベース振興センター評議員等。

### 大原 茂之 (正会員)

1971年東海大学大学院修士課程修了。同年同大助手。現在、同大電子情報学部教授。2004年よりIPA/SECリサーチフェロー、2005年よりJASA理事。デバイスドライバ開発支援技術、バーチャル空間上のデバイス間同期化技術などの研究に従事。工学博士。

### 尾上 能之 (正会員)

1992年東京大学工学部計数工学科卒業。1997年同大学院博士課程単位取得退学。同大工学部助手を経て2002年より同大情報基盤センター講師。博士(工学)。プログラミング言語処理系の研究に従事。

### 金出 武雄

1945年10月24日生。1973年京都大学工学部情報工学科博士課程修了。同年同大工学部情報工学科助手。1980年米国カーネギーメロン大学計算機科学科・ロボット研究所高等研究員。テニユア付準教授、教授を経て、1992～2001年ロボット研究所所長。2001年産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究ラボ長併任となり、2003年よりデジタルヒューマン研究センター長。計算機視覚、自律ロボット、医用ロボット、環境型システムに関する研究に従事。工学博士。1998年米国アカデミー外国特別会員。2000年C&C賞、1998年JARA賞、1996年エンゲルバーガー賞、1991年Marr賞等。

### 姜 有峯

スポーツや交通事故の衝撃損傷に関する生体力学シミュレーションを専門とする。その他、生体組織の力学特性を非侵襲的に計測するための新しい技術開発に従事。現在、京都大学工学研究科博士課程に在籍。

### 桐山 善守

昭和49年生。平成16年慶應義塾大学大学院理工学研究科総合デザイン工学専攻博士課程単位取得退学。同年、同大医学部整形外科教室助手。平成17年同大医学部運動器機能再建・再生学寄付講座助手。現在に至る。計算機シミュレーションと屍体実験、生体計測を用いた外科的治療法の開発や評価に関する研究に従事。日本機械学会、日本脊椎脊髄病学会、日本整形外科スポーツ医学会など各会員。

### 酒井 健作 (正会員)

産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター研究員。2001年筑波大学大学院博士課程工学研究科修了。同年、博士(工学)。2005年産業技術総合研究所入所。ユーザインタフェースと知識処理、心理・生理反応解析とモデル化の研究に従事。

### 坂内 正夫 (正会員)

昭和44年東京大学・工・電気卒業。同大学院博士課程修了。東京大学講師、横浜国立大学助教授、東京大学・生研・助教授、教授、同所長を経て、平成14年国立情報学研究所副所長、平成17年4月より同所長。工学博士。マルチメディア情報処理の研究に従事。

### 佐藤 清

昭和44年東北大学農学部卒業。協和発酵工業(株)入社。平成13年本社技術情報センター長。医薬品の研究開発と医薬品情報のデータベース整備に従事。平成14年JBIC出向、事務局長。現在に至る。農学博士(東北大学)。日本化学療法学会、日本薬学会各会員。

### 田中 正利

自動車の衝突安全性に関する技術開発を専門とする。「K-D ネットモデル」および「鞭打ち症軽減シート」の開発に大きな貢献を果たした。現在、再生医科学研究所研究生として、生体の衝撃損傷評価に関する研究に従事。

### 鎮西 清行

平成5年東京大学大学院工学系研究科修了。博士(工学)。工業技術院入所、組織改変を経て現在に至る。日本コンピュータ外科学会、日本生体医工学会などの会員。専門は手術ロボティクス、医用画像処理、生体力学。

### 堤 定美

京都大学再生医科学研究所ナノ再生医工学研究センター長・教授。生体力学および生体材料に関する研究に長年従事し、医療機器の国際標準化および新しい技術開発の研究に携わる。

### 中島 直樹

昭和62年九州大学卒業。医療情報学および代謝糖尿病学。現在、九州大学病院で電子カルテ導入プロジェクトに所属すると同時に、AQUA(アジア九州先進医療ネットワークプロジェクト、清水周次氏主催)で事務局を務めている。

### 西田 佳史

1998年東京大学大学院博士課程修了。同年電子技術総合研究所入所。現在、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター人間行動理解チーム長。2005年より「事故予防のための日常行動センシングと計算論の基盤技術」(科学技術振興機構CREST)の研究代表者。日本ロボット学会論文賞など受賞。

### 西野 武史

1966年日本IBM入社。大型システム基幹ソフトウェアのIMS/VSを担当。後年日本およびアジア太平洋地区のIT技術者リイダ育成制度に従事。2005年3月よりIPA非常勤勤務。ITSSユーザー協会個人会員、情報システム学会会員、JCDA公認キャリアコンサルタント。

### 長谷 和徳

名古屋大学大学院工学研究科助教授。1997年慶應義塾大学大学院博士課程修了。博士(工学)。産業技術総合研究所などを経て2003年より現職。ヒト身体運動の力学解析の研究に従事。日本機械学会など各会員。

### 姫野龍太郎 (正会員)

1977年京都大学電気系学科学卒業。1979年同大学院修士課程修了。同年日産自動車入社。1997年から理化学研究所。現在情報基盤センター長、兼、生体力学シミュレーション特別研究ユニットリーダー。工学博士。

### 平山 雅之 (正会員)

1986年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程前期修了。同年(株)東芝入社。2003年大阪大学大学院基礎工学研究科博士後期課程修了。2004年IPA/SEC兼務。現在、(株)東芝ソフトウェア技術センター参事、IPA/SEC研究員。ソフトウェアの品質・信頼性技術に関する研究に従事。博士(工学)。

### 廣瀬 正

慶應義塾大学大学院計測工学修士課程修了。日立製作所システム開発研究所入所。OS、DB、ソフトウェア開発技術、AI研究に従事のものち、情報通信事業の事業企画を担当。現職、President, Hitachi America CVC。現在の研究分野はManagement of technology。IEEE会員。E-mail: tadashi.hirosed@hitachi.com <http://www.hitachi.co.jp/cvc/>

### 美崎 薫

引退間近の弱虫な夢想家。本文中に登場する各種ソフトを完成したてで、才能が枯渇し充電中。

### 持丸 正明

1964年5月18日生。1993年慶應義塾大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。同年工業技術院生命工学工業技術研究所入所。2001年改組により、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究ラボ。2003年よりデジタルヒューマン研究センター副センター長。人体形状・運動の計測技術、モデル化と産業応用に関する研究に従事。市村学術賞、SAE DHM Outstanding Paper Award など受賞。

### 本村 陽一

1993年電気通信大学大学院修士課程修了。1993年電子技術総合研究所入所。現在、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター主任研究員。人工知能学会論文賞、ベストプレゼンテーション賞、研究奨励賞等受賞。

### 山崎 信寿

昭和23年生。昭和51年慶應義塾大学大学院工学研究科管理工学専攻博士課程修了。同年、同大機械工学科助手、昭和58年専任講師、昭和61年助教授、平成6年教授。現在に至る。身体特性の計測手法とモデル解析手法を開発し、製品設計への応用を試みている。工学博士。平成2、8、14年バイオメカニクス学会論文賞、平成5、11年日本工業教育協会著作賞、平成11年日本機械学会論文賞など受賞。日本機械学会、日本人間工学会など各会員。

### 山中 龍宏

1974年東京大学医学部卒業。同年大学病院二次病院小児科に勤務。1999年緑園こどもクリニック(横浜市泉区)院長。第10回日本外来小児科学会(2000年度)会長。子どもの事故予防情報センター([www.jikoyobou.info](http://www.jikoyobou.info))代表。日々の診療の中で数多くの事故を診て、十数年前から小児の事故予防に取り組みはじめた。現在、科学的な事故予防活動を模索中である。1989年から日本小児科学会小児事故対策委員会委員、同年から厚生省の「小児の事故予防」研究班の研究協力者、1994年から小児の事故予防の国際誌「Injury Prevention」(BMJ publishing group)の編集委員。

**横田 秀夫**

1993年日本大学大学院農学研究所修士課程修了、KAST樋口「極限メカトロニクス」専任研究員、1999年理化学研究所生体力学シミュレーション研究協力員、2003年VCAT開発チームリーダー、博士(工学)。

**吉田 宏昭**

有限要素法を用いた生体力学シミュレーションを専門とする。京都大学工学博士取得後、ジョーンズホプキンス大学に留学。現在、産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センターで“デジタルハンド”研究に従事。

# 情報処理学会 創立45周年記念DVD 2006/3/20発売決定!

情報処理学会は、今年創立45周年を迎えました。  
これを記念し、45周年記念DVDを発売いたします。

お申込は <http://www.ipsj.or.jp/04toshou/45DVD.html> から !!

## 収録論文 全研究会の研究報告を創刊から2004年分まですべて収録! (DVD8枚組)

会誌	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約1,550件
ジャーナル	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約1,760件
トランザクション	Vol.41 (2000年)~Vol.45 (2004年)	約840件
研究報告(全研究会)	創刊より~2004年	約28,000件
英文誌	Vol.1 (1961年)~Vol.17 (1977年)	約310件
欧文誌	Vol.1 (1978年)~Vol.15EX (1992年)	約440件

## 検索 書誌情報、アブストラクトまでフリーワード検索可能!

検索ソフト対応OS: WindowsXP / Windows2000 / MacOS X / Linux  
※検索プログラムはサーバ利用には対応していません。

## 予定販売価格

<予約特価>		価格(円)		価格(円)	
個人	会員*	25,000	非会員	50,000	
法人	会員**	100,000	非会員	200,000	
<定価>		価格(円)		価格(円)	
個人	会員*	35,000	非会員	70,000	
法人	会員**	150,000	非会員	300,000	

\* 正会員、名誉会員、終身会員、準会員、学生会員  
\*\* 賛助会員、購読員

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、9月号の特集「検索エンジン 2005 - Web の道しるべ」については、多くのご感想とご意見をいただきました。

■各サーチエンジンの試みが詳しく記されており、技術的内容に深く触れないまでものものであっても、非常に有益な特集だったと思います。サーチエンジンごとに文化や特色が違うのがはっきりと理解でき、興味深く読ませていただきました。(平島大志郎)

■いつの間にか、知りたいことがあるとインターネットで検索するようになっていくことに気づいた。一発で必要な内容に当たることは多くはないが、今回の特集でも見られるように、着実に改良は続けられているようである。分からないことを聞くと、必要な答えが一発で返ってくるというのもそんなに遠い先の話ではない気がしてきた。(匿名希望)

■Webサイトの数は、膨大であり、いかにして効率よく検索をするかが、大きな課題になっています。この特集は、まさに今日の意義があると思いました。(水野光朗)

■情報処理に携わる人々の誰しもが興味を持つテーマだと思う。私としては興味深い記事がたくさんあって読むのに困るほどである。こうした関心の高い重要なテーマは2回に分けてもよいと思う。(匿名希望)

■普段何気なく使っている検索エンジンの仕組みが分かりやすく書いてあって面白かったです。(匿名希望)

■非常に興味深く読ませていただいた。ハードウェアからソフトウェアまで幅広い解説がなされており、巨大なシステムの全体像を大まかに捉えることができた。また、残っている問題点も多く指摘されており、この分野に入るための良い入り口になっていたと思う。(匿名希望)

■大変興味深く読ませていただきました。「Yahoo! Search Technology (YST) と、検索分野におけるYahoo! JAPANの戦略」について、図-1の説明をしていただき良かったです。(匿名希望)

■実際に広く使われているシステムの解説で興味深かったです。特に、「検索エンジンの概要」で、商用システムが書かない・書けない部分のフォローがなされていたのが良かったです。(匿名希望)

■複数のサイトが取り上げられていて参考になりました。(太田宏佑)

■この分野は個人で研究する場合には、研究するデータをなかなか

集めにくいという問題があるので、ぜひともそれに対する解決策を紹介して欲しかったです。それに関連してデータコレクションの構築の仕方についても取り上げて欲しかったです。それから、普段使われている検索エンジンの規模を考えると、この分野はなかなか個人で研究して対抗していくのは難しいと感じました。検索結果の精度を上げるためには、最終的にパーソナライゼーションが重要になってくるのではないかと、そして現在はその段階に入りつつあるのではないかと思います。(片山聡一郎)

■興味深く読ませて貰いました。ただ、残念なのは最大手のGoogleの紹介がなかったことです。この分野も矛と盾、スパムへの対応が問題と分かりました。利用者にとってよりよいソフトが完成することを願っています。(匿名希望)

■インターネット・ユーザのほとんどが利用していて、そのからくりに関心を持っていると思われるので、大変興味深く読ませていただきました。山名・村田両先生の「検索エンジンの概要」を読みましてWeb検索エンジンとは随分大掛かりで、複雑なものだということを実感的に理解しました。扱う情報量も通信量も正に巨大であるという感じがいたします。これを絶えず更新して新鮮な情報を提供し続けることは大変なことです。笹島・浜野両氏の「日本人のための検索技術を目指して」の末尾に言及されている「質問文に対応する回答を直接出力する技術」に大きな興味を感じました。いっそう便利になりますね。現行のキーワード検索方式は入力が簡単ですから存在し続けるでしょう。(竹下 亨)

解説「日本の大学発ベンチャーの現状 - (株)シンセシスを例として」につきましては、次のようなご感想・ご意見をいただきました。

■当たり前のことですが、大学は研究機関であり、採算の取れない研究活動をも行う必要があります。今は採算が取れなくとも、将来何の役に立つのか分からないからです。いわば「先行投資」的な役割も大学は果たす必要があると考えます。大学発ベンチャーは、今日もてはやされていますが、目先の利益にとらわれない先行投資的な研究活動も注目されてよいと思います。(水野光朗)

■ここ数年強調され、推進されていることの成功例の1つを具体的に報告くださっており、関心を持っている多くの方々に参考になり、勇気付ける記事であるかと思います。(竹下 亨)

■非常に面白いトピックだったと思います。可能ならば、1つの事業内容や研究成果について具体的に述べていくより、現段階の日本の大学発のベンチャーについて多くの事例を具体的にたくさん述べていただきたく思いました。その上で、日本でベンチャーを創出する際の困難について生の声を整理して、問題提起できるようなものでしたらより有益であると思います。(平島大志郎)

コラム「アメリカITまわりの話題『アメリカ通勤事情』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■非常に興味深く読ませていただきました。アメリカでのTelecommuteでの、個人の生活を大切にしている意識の高さに驚きました。文化の違いから来る、個を大切にするか集団を大切にするかの違いだと思いますが、うらやましさを感じる反面、やはり日本で行うには難しさを感じます。(平島大志郎)

■いまだに何も変わらない自社(および大半の日本企業)に改めて嫌気がこみ上げてしまった。裁量労働制は単なる人件費削減と化し、

月に数日しかできない自宅勤務すら「理由書」を求められるという現状は、どうやったら変えられるのだろうか。自分でそういう企業を作り出すしかないという答は分かっているが、その力が自分になide であろうという諦めが先にきてしまう自分を嫌悪しても始まらないのだが。

(匿名希望)

■大変面白かった。事務職で「遠距離勤務」というのは日本では考えられない勤務状態ではないだろうか。さすが、家族/家庭を大事にするアメリカである。我が社にTV会議が導入されているが、使用頻度は高くなく、むしろ会議のために出向くことが多い。よって、筆者も触れているが、日本の仕事文化にはなじまないかなと個人的には思っている。

(匿名希望)

■Telecommuteというのも、プライベートな時間を自由にとりやすくという点で良いと思う一方で、普段携帯メールやメッセージャーをしている時に感じるやりとりでの遅延や情報量の少なさを考えると、やはり直接会ってコミュニケーションをとることも大切なのではないかとも思いました。

(片山聡一郎)

コラム「地域社会とIT『手作りキットから生まれた電子百葉箱システム』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■Live E! プロジェクトに興味を持っていましたので、関心を持って読ませていただきました。設計や設置、運用上の問題点は実体験の上から非常に臨場感を感じることができて、面白く感じました。

(平島大志郎)

■気象観測の自動化を身近に進める点に興味深い。このような手法が全国的に普及して欲しいものだ。

(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■解説「空間分割を用いた識別と非線形写像の学習(2) データ空間の再帰的分割に基づく非線形写像学習 一回帰木の今昔」：数学を利用した手法について非常に丁寧に説明がなされていて、とてもよく理解することができました。これからは、問題解決のために数学を利用しているさまざまな手法について、懇切丁寧な説明付きで紹介してくれるコーナーがあると、学生にとってはとてもためになる

と思いました。

(片山聡一郎)

■コラム「情報技術と医療『病名の深い森』」：医療現場の声から情報技術について考えることは、非常に関心を持たされます。一般的に考えられるような単純なシステムの効率化が必ずしも良いことではなく、あくまで使う側の人にとってシステム設計の必要性を実感できる内容だと思います。

(平島大志郎)

■「20世紀の名著名論」：地道な記事ですが、学会らしい大切な記事だと思います。流れが速い情報処理関連研究においても、基礎は重要であり、若手研究者が、このような名著をきちんと読み、それをベースにしていくことの重要性を感じます。

(匿名希望)

学会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にさせていただきます。

■特集はオールカラーがよかったです。

(阿達健太)

■「愛・地球博のシステム運用」。万博が成功して何よりであった。関係者一同の尽力の賜だが、それを支える1ファクタとして運用システムがあり、期間中も問題点があれば絶えずフィードバックし、改善の努力を続けたことが大きい。学会が関係者とコンタクトし、ぜひ取り上げていただきたい。

(匿名希望)

■欧州やアジアの勤務事情も取り上げてほしい。

(匿名希望)

■家電製品と情報技術との連携。情報処理技術者ならば知っていなければならない法律について。

(片山聡一郎)

■長い連載記事がありますが、情報分野は進歩が早く状況が刻々と変わってくるので、理論的なものは別としてせいぜい6回位で打ち止めにはいかがでしょうか。

(匿名希望)

■記事・解説等の著者略歴を見ようとしますと、いちいち巻末の「著者紹介」のページを探し、かつ特に複数の著者の場合に、見つけるのに手間取ります。以前のように、記事・解説等のそれぞれの末尾に掲載していただけないか(そのために1ページ余分に必要になる場合は他のページの余白に)。

(竹下 亨)

【本欄担当 大城正典、酢山明弘/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後よりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

## ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については、<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたいいたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax: (03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4612.html>

皆様からいただいた会誌へのご意見は下記 Web ページにも掲載しております。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> (読者からの声)



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
<b>2005年</b>				
12月16日(金)	北陸支部主催講演会「放送技術と通信技術の融合 -これからのケーブルテレビ技術-」開催案内 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		当日可	富山県立大学地域連携センター(射水市)
12月16日(金)~ 12月17日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2005」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-CH2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-CH2005.html</a>	9月16日(金)	12月7日(水) 当日可	東京大学本郷キャンパス
12月17日(土)	第2回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EC2.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/EC2.html</a>		当日のみ	東京大学 柏キャンパス
12月20日(火)	第57回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MPS57.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MPS57.html</a>		当日のみ	電気通信大学
12月21日(水)	北陸支部主催講演会「情報メディアと若者」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		当日可	富山国際大学(富山市)
12月21日(水)	第1回教育学習支援情報システム研究グループ <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CMS1.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CMS1.html</a>	10月25日(火)		大阪大学中之島センター
12月21日(水)~ 12月22日(木)	第59回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP59.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP59.html</a>	10月14日(金)	当日のみ	東京工業大学
12月22日(木)	北陸支部主催講演会「自然言語処理の応用研究-誤り文の 言語処理を中心に-」開催案内 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>			金沢市角間町
12月22日(木)	第3回バイオ情報学研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO3.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO3.html</a>	10月21日(金)	当日のみ	東京大学医科学研究所
12月23日(金)	第63回 音楽情報科学研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS63.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/MUS63.html</a>	10月21日(金)	当日のみ	大垣市情報工房 スィンクホール
<b>2006年</b>				
	平成17年度情報処理学会長尾真記念特別賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h17boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h17boshu.html</a>	1月20日(金)		
1月12日(木)~ 1月13日(金)	第171回自然言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL171.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NL171.html</a>	10月31日(月)	当日のみ	国立国語研究所
1月12日(木)~ 1月13日(金)	第142回知能と複雑系研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS142.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS142.html</a>	11月18日(金)	当日のみ	ヒルトン小樽 (北海道小樽市築港11番3)
1月13日(金)	第117回ヒューマンインタフェース研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI117.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/HI117.html</a>	11月11日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所
1月16日(月)~ 1月17日(火)	第57回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO57.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/PRO57.html</a>	11月16日(水)	当日のみ	産業技術総合研究所
1月17日(火)~ 1月18日(水)	第123回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM123.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLDM123.html</a>		当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月19日(木)~ 1月20日(金)	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム(HPCS2006) <a href="http://www.hpcc.jp/hpcs/">http://www.hpcc.jp/hpcs/</a>	9月30日(金)	定員になり次第	東京大学 武田先端知ビル
1月19日(木)~ 1月20日(金)	第152回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM152.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CVIM152.html</a>	10月31日(月)	当日のみ	大阪大学 (吹田キャンパス)
1月20日(金)	第18回高品質インターネット研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI18.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/QAI18.html</a>	11月4日(金)	当日のみ	仙台国際センター
1月20日(金)	第104回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL104.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/AL104.html</a>	11月20日(日)	当日のみ	慶應義塾大学 矢上キャンパス
1月23日(月)~ 1月27日(金)	2006 インターネット応用国際会議(SAINT2006) <a href="http://www.saintconference.org/">http://www.saintconference.org/</a>	7月1日(金)		アメリカ (アリゾナ州フェニックス)
1月24日(火)	第158回計算機アーキテクチャ研究発表会(SHINING 2006) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC158.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ARC158.html</a>	11月14日(月)	当日のみ	早稲田大学理工学部
1月24日(火)~ 1月27日(金)	Asia and south Pacific Design Automation Conference 2006 (ASP-DAC2006) <a href="http://www.aspdac.com/aspdac2006/">http://www.aspdac.com/aspdac2006/</a>			パシフィコ横浜
1月26日(木)~ 1月27日(金)	第138回データベースシステム・第58回グループウェアと ネットワークサービス・第13回放送コンピューティング研究 グループ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS138GN58.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DBS138GN58.html</a>	11月30日(水)	当日のみ	吾妻屋シーサイド ホテル(和歌山県加太温泉)
1月27日(金)	高度交通システム2006シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ITS2005.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/S-ITS2005.html</a>			日本科学未来館
1月27日(金)	第53回デジタル・ドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD53.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DD53.html</a>	11月18日(金)	当日のみ	(株)ジャストシステム 徳島本社
1月27日(金)	第69回人文科学とコンピュータ研究会発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH69.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/CH69.html</a>	11月21日(月)	当日のみ	国立教育政策研究所 目黒庁舎
2月1日(水)	東海支部専門講習会「ロボットとIT技術 -ロボットとのコミュニケーション」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>			ルブラ王山(名古屋市)
2月3日(金)~ 2月4日(土)	第60回音声言語情報情報処理研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP60.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/SLP60.html</a>	12月2日(金)	当日のみ	熱海温泉 ホテル熱海閣
2月9日(木)~ 2月10日(金)	第4回バイオ情報学研究会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO4.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/BIO4.html</a>	12月28日(水)	当日のみ	北海道大学高等教育機 能開発総合センター
2月15日(水)	東海支部講演会「電子政府における情報セキュリティ技術 に関する現状と課題」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>	2月15日(水)		東桜会館(名古屋市)
2月16日(木)~ 2月17日(金)	第10回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/UBI10.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/UBI10.html</a>	12月16日(金)	当日のみ	公立はこだて未来大学
2月17日(金)	ソフトウェアアジア2006(SJ2006) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html</a>		事前参加締切 2月10日	東京コンファレンスセ ンター品川
3月2日(木)~ 3月3日(金)	インタラクティブ2006 <a href="http://www.interaction2006.jp/">http://www.interaction2006.jp/</a>	12月14日(水)		学術総合センター/ 一橋記念講堂
3月7日(火)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (記念シンポジウム) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/</a>			工学院大学 新宿キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月7日(火)～ 3月9日(木)	日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム (記念展示会) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/50sympo/</a>			工学院大学 新宿キャンパス
3月7日(火)～ 3月10日(金)	第68回全国大会(学会創立45周年記念大会) <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/68kai/</a>			工学院大学 新宿キャンパス
3月13日(月)～ 3月14日(火)	第2回ネットワーク生態学シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0603.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/NE0603.html</a>	12月3日(土)	2月20日(月)	関西学院大学
3月16日(木)～ 3月17日(金)	第95回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS95.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/IS95.html</a>	12月16日(金)	当日のみ	専修大学神田 キャンパス
3月28日(火)	第143回知能と複雑系研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS143.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/ICS143.html</a>	1月27日(金)	当日のみ	学術総合センター 特別会議室
3月29日(水)	第40回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM40.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2005/DSM40.html</a>	1月20日(金)	当日のみ	熊本大学黒髪キャンパス (南)工学部百周年 記念館
5月9日(火)～ 5月12日(金)	7th International Conference on Mobile Data Management (MDM2006) <a href="http://www.mdm2006.kddilabs.jp/">http://www.mdm2006.kddilabs.jp/</a>			奈良新公会堂
7月13日(木)～ 7月14日(金)	2nd International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2006) <a href="http://www.collabtech.org/">http://www.collabtech.org/</a>			筑波大学
9月5日(火)～ 9月7日(木)	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム			福岡大学
10月11日(水)～ 10月13日(金)	The 3rd International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2006) <a href="http://www.icmu.org/icmu2006">http://www.icmu.org/icmu2006</a>			イギリス (ロンドン大学)
10月23日(月)～ 10月24日(火)	International Workshop on Security (IWSEC2006) <a href="http://www.iwsec.org/">http://www.iwsec.org/</a>			京都

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

#### [トピックス]

- 11月17日 情報処理教育委員会が「日本の情報教育・情報処理教育に関する提言 2005」(PDF 407KB)を公表した(2005-10-29, シンポジウム「高校教科「情報」の現状と将来」)
- 11月15日 人材募集情報(11月)更新しました
- 11月14日 「政府機関の情報セキュリティ対策のための統一基準」に追加すべき項目(骨子)に関する意見書提出

#### [学会からのお知らせ]

- 11月22日 学生会員アンケート(締切:12月9日)
- 11月16日 平成17年度「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦のお願い
- 11月10日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿〔募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先〕を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000円(税込)  
賛助会員(企業) 31,500円(〃)  
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)  
\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■会津大学

募集人員 (a)教授または助教授 1名(CH05001) (b)講師 1名(CS05008)  
所属 (a)コンピュータ論理設計学講座 (b)マルチメディアシステム学講座  
応募資格 (a)詳細はWebページ (<http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCH.html>)を参照ください  
(b)詳細はWebページ (<http://www.u-aizu.ac.jp/labs/opm/Position/DCS.html>)を参照ください  
応募締切 (a)平成18年1月4日(必着) (b)平成18年1月13日(必着)  
照会先 (a)E-mail:ch05001@u-aizu.ac.jp (b)E-mail:cs05008@u-aizu.ac.jp  
その他 (a), (b)ともに, 書類はすべて英文で提出してください

### ■日本大学生産工学部数理工学情報工学科

募集人員 助教授, または講師 1名  
専門分野 コンピュータネットワーク, 情報メディア, Web, ロボット知能, ユビキタスなどの分野  
応募資格 年齢は40歳以下で, 博士の学位を有すること, 大学院における教育・研究の指導力を有する方, またはソフトウェア開発の実務経験がある方が望ましい  
着任時期 平成18年4月1日  
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 教育歴, 所属学会名, 学会活動, 社会活動など), 研究業績リスト(博士論文, 学会論文, 国際会議論文, 解説論文, 著書, 特許など)に分けて記載, 主要論文別刷(コピー可), 教育に対する抱負(1000字程度), 研究に対する抱負(1000字程度), 応募者について所見をいただける方2名の連絡先(E-mailアドレス/電話番号)  
応募締切 平成18年1月11日(必着)  
送付先/照会先 〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 日本大学生産工学部数理工学情報工学科 学科主任 松田 聖  
E-mail:smatsuda@cit.nihon-u.ac.jp 事務室Tel(047)474-2650 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留  
その他 詳細はWebページ (<http://www.su.cit.nihon-u.ac.jp/>)を参照ください

### ■鳥取大学工学部電気電子工学科

募集人員 助教授 1名  
所属 電子情報制御講座  
専門分野 情報セキュリティ, 信号処理など  
担当科目 情報通信, 電子計算機, 電気電子回路, 数学, 実験, 演習など  
応募資格 博士の学位を有し, 45歳前後までの方, 上記専門分野の開発研究に十分な意欲を有し, 教育に熱意があり, 大学院博士後期課程を担当できる方  
着任時期 平成18年4月1日以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 教育歴(非常勤講師を含む), 研究業績リスト, 研究概要(2000字程度), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 所属学会および学会活動, 社会における活動, その他の教育・研究活動など, 外部資金の導入, 教育・研究および教室運営についての抱負(2000字程度), 推薦書(2通)または本人に関する所見を伺える方の氏名・連絡先(2名)  
応募締切 平成18年1月20日(必着)  
送付先/照会先 〒680-8552 鳥取県鳥取市湖山町南4-101 鳥取大学工学部 電気電子工学科長 中井生央 E-mail:nakai@ele.tottori-u.ac.jp  
Tel(0857)31-5104 Fax(0857)31-0880 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便  
その他 詳細はWebページ (<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)を参照ください  
【選考方法】1次:書類審査, 2次:1次選考合格者に対して面接とプレゼンテーション

## ■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名  
専門分野 情報工学(ソフトウェア工学関連の方が望ましい)  
担当科目 ソフトウェア工学, コンパイラ, プログラミング言語(JAVAを含む), 情報工学実験  
応募資格 専門分野のうち, とくに学科目に関連ある分野で研究業績があり, 以下の項目に該当する方  
(1)博士の資格を有する方, または着任時まで取得見込みの方, (2)大学院の担当が可能な方, (3)40歳までの方が望ましい,  
(4)教育経験のある方が望ましい  
着任時期 平成18年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別のこと), 主要論文別刷(5編程度), これまでの研究概要と今後の研究計画, 本学における教育に対する抱負, 博士の学位取得見込みの場合, 指導教授の推薦書  
応募締切 平成18年1月20日(必着)  
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 (ダイヤルイン)  
Fax(092)606-7310 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留  
照会先 情報工学科 学科長 郷六一生 E-mail:gourouku@fit.ac.jp Tel(092)606-4863 (ダイヤルイン) Fax(092)606-4863

## ■島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

募集人員 教務職員 1名  
所属 情報分野  
専門分野 情報工学または情報科学  
担当科目 計算機システムの管理および情報科学の演習・実習, その他  
応募資格 大学院修士課程修了以上の者(見込みを含む)で, 教育・研究に熱意のある方(将来博士の学位を取得し, 助手への昇進を目指す方が望ましい). 国籍, 性別, 宗教を問わない. また計算機システムの管理ができる方  
着任時期 平成18年4月1日(予定)  
提出書類 履歴書, 業務経歴(研究業績を含む:研究業績の記載方法はWebページからダウンロードしてください), 論文または報告書があればその別刷(3編以内, コピー可), 今後の教育・研究に対する抱負(A4用紙1枚程度), 応募者についての参考意見をいただける方の氏名と連絡先(2名)  
応募締切 平成18年2月24日(必着)  
送付先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部長 今岡輝男 郵送の場合は「数理・情報システム学科情報分野教務職員応募書類在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則として返却いたしません  
照会先 数理・情報システム学科情報分野 岡本 覚 E-mail:okamoto@cis.shimane-u.ac.jp Tel/Fax(0852)32-6478  
その他 【選考方法】第1次選考:書類審査, 第2次選考:面接(旅費は自己負担) \*選考結果は応募者ご本人に通知します  
詳細はWebページ (<http://www.cis.shimane-u.ac.jp>) を参照ください

## ■日本大学理工学部数学科および日本大学大学院理工学研究科数学専攻

募集人員 教授 1名, ただし助教授としての採用もあり得る  
専門分野 数理情報  
担当科目 数学科および数学専攻におけるコンピュータを用いた演習を含む数理情報系授業科目  
応募資格 博士号を有し, 40歳程度以上で博士後期課程担当可能なこと, 数理情報の分野に関する教育・研究業績を有すること  
着任時期 平成19年4月1日(予定)  
提出書類 履歴書(E-mailアドレスを記入のこと), 研究業績リスト, これまでの研究概要と今後の研究計画(あわせてA4用紙2枚以内), 過去の主要な担当授業科目名とその内容, 業績など照会先2名の氏名および連絡先(E-mailアドレスを含む)  
応募締切 平成18年2月末日  
送付先/照会先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8 日本大学理工学部数学科 主任 上坂洋司  
E-mail:uesaka@math.cst.nihon-u.ac.jp Tel(03)3259-0937 「応募書類」と朱書のこと  
\*提出書類は選考のためにのみ使用し, 後破砕処分します  
その他 【注意事項】着任予定年月日は, 平成19年4月1日で, 平成18年ではありません

# 第68回全国大会 聴講参加・講演論文集予約の御案内

## ー未来を拓く情報学ー

大会会期：平成18年3月7日（火）～10日（金）

大会会場：工学院大学 新宿キャンパス（東京都新宿区西新宿 1-24-2）

情報処理学会創立45周年記念イベント 同会場にて同時開催!!

- ・記念シンポジウム「日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム」
- 開催日時/会場:平成18年3月7日(火)13:00～ / 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール]
- ・記念展示会 開催日/会場:平成18年3月7日(火)～9日(木) / 第1イベント会場[高層棟1Fアトリウム]

第68回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集」ならびに「懇親会参加」の予約受付をいたします。本大会では、以下のイベント企画も開催する予定しております。皆様どうぞお誘い合わせのうえお申込ください。

**予約申込受付期間：平成17年12月15日～平成18年2月10日（〆切 19:00）**

**招待講演企画**：招待講演 4 件を予定しております。

招待講演(1)	「韓国の情報化経験とこれからの課題」 Yang Seung Taik（東明情報大学（韓国） 総長） 8日(水)10:10-11:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール]
招待講演(2)	「Introduction to CAC (Computing Accreditation Commission) of ABEEK (Accreditation Board for Engineering Education of Korea)」 Sung Jo Kim (KISS 韓国情報科学会 副会長/Chung-Ang University) 8日(水)11:10-12:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール]
招待講演(3)	「コンピュータと機械工学の45年ーロケット・ロボット・マイクロ技術ー」 三浦 宏文（工学院大学 学長） 9日(木)13:00-14:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール]
招待講演(4)	「次世代スーパーコンピュータにかける夢ー国家基幹技術としての推進ビジョンー」 星野 利彦（情報科学技術研究企画官） 10日(金)13:00-14:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール]

**イベント企画**：以下のイベント企画を予定しております。各イベント企画では第一線で活躍されておられる講師をお招きし講演、パネル討論等の開催を予定しております。

特別 セッション(1)	ここまで来たコンピュータ将棋 8日(水)13:15-18:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール] 13:15-15:45 人間とコンピュータの将棋の対戦 (終了目安) 対局者:清水上 徹(2005年アマ竜王) コンピュータ:激指(2005年コンピュータ将棋選手権優勝) 司会(聞き手):伊藤 毅志(電通大) 解説:島 朗(プロ棋士8段) 16:00-18:00 パネル討論:「将棋とコンピュータ」 (対局終了後)司 会:松原 仁(はこだて未来大) ゲ ス ト:清水上 徹(2005年アマ竜王) パネリスト:伊藤 毅志(電通大), 島 朗(プロ棋士8段), 鶴岡 慶雅(激指開発者)
特別 セッション(2)	サービスサイエンスの出現 9日(木)9:00-12:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール] 9:00-10:00 基調講演:「Service Sciences, Management and Engineering (SSME)」 James Spohrer (IBM Almaden Services Research) 10:00-12:00 パネル討論:「サービス・サイエンスの確立に向けて」 司 会:丹羽 邦彦(科学技術振興機構) パネリスト:James Spohrer (IBM), 徳田 英幸(慶大), 中島 秀之(はこだて未来大), 根本 光宏(文部科学省), 橋本 正洋(経済産業省)
特別 セッション(3)	Symbiotic Computingシンポジウム 9日(木)14:30-17:30 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール] 14:30-15:10 基調講演:「Symbiotic Computingーポスト・ユビキタス情報環境へ向けてー」 白鳥 則郎(東北大) 15:10-15:30 講演(1):「アンビエント・ナレッジとトラスト」 田中 克己(京大) 15:30-15:50 講演(2):「企業・組織・共生・計算」 寺野 隆雄(東工大) 15:50-16:10 講演(3):「SocialWare」 木下 哲男(東北大) 16:10-16:30 講演(4):「ウェアラブル・ユビキタスコンピューティングと共生コンピューティング」 塚本 昌彦(神戸大) 16:30-16:50 講演(5):「ICT産業の観点での Symbiotic Computing」 原 良憲(NEC) 16:50-17:30 パネル討論:「Symbiotic Computing」 司 会:白鳥 則郎(東北大) パネリスト:木下 哲男(東北大), 田中 克己(京大), 塚本昌彦(神戸大), 寺野 隆雄(東工大) 原 良憲(NEC)
特別 セッション(4)	ブロードバンド情報発信：BBコンテンツ 10日(金)9:00-12:00 第1イベント会場[高層棟3Fアーバンテックホール] 9:00-9:50 基調講演:「未来へ輝くブロードバンドコンテンツを創る」 真咲 なおこ(SKJ) 9:50-12:00 パネル討論:「放送と通信の融合の本当の姿を論じる」 司 会:関口 和一(日本経済新聞社) パネリスト:梶 明彦(ジャルパック), 鈴木 滋彦(NTTソフトウェア), 安田 浩(東大)

特別セッション(5)	<p><b>競争と協調による情報検索研究の深耕:NTCIRの足跡と未来</b>                  10日(金)14:30-17:00 第1イベント会場[高層棟 3F アーバンテックホール]                  14:30-15:30 基調講演:「5回のNTCIRの総括と今後」 神門 典子(国立情報学研)                  15:30-17:00 パネル討論:「オーガナイザ・参加者間の壁を壊す」                  司 会:酒井 哲也(東芝)                  パネリスト:伊藤 克亘(名大), 大山 敬三(国立情報学研), 岸田 和明(駿河台大), 藤井 敦(筑波大), 藤田 澄男(ヤフー), 吉岡 真治(北大)</p>
シンポジウム	<p><b>日本学術会議と「情報学」の新展開</b>                  8日(水)13:15-15:15 第2イベント会場[高層棟 6F 0652 教室]                  13:15-13:45 基調講演:「日本学術会議と情報学」 土居 範久(中大)                  14:00-15:15 パネル討論:「日本学術会議と情報学の新展開」                  司 会:笈 捷彦(早大)                  パネリスト:安西 祐一郎(慶大), 武市 正人(東大), 土居 範久(中大), 益田 隆司(電通大), 村岡 洋一(早大)</p>
福祉社会システム実務研究グループ企画	<p><b>ありかな? 「てごろでがっちり情報保障」～障害のある人と考える場を、もっと。</b>                  8日(水)15:30-18:00 第2イベント会場 [高層棟 6F 0652 教室]                  15:30-16:00 講演(1):「ありかな? てごろでがっちり情報保障」 萩川 友宏(静岡大)                  16:00-16:30 講演(2):「手頃な情報保障:情報系研究者にできること」 坂根 裕(デジタルセンセーション)                  16:30-17:00 講演(3):「手頃な情報保障:企業・大学にできること」 織田 修平(NTT)                  17:00-17:30 講演(4):「手頃な情報保障:情報系研究者に望むこと」 青柳 まゆみ(筑波大)                  17:30-18:00 自由討論                  司 会:萩川 友宏(静岡大)                  パネリスト:青柳 まゆみ(筑波大), 織田 修平(NTT), 坂根 裕(デジタルセンセーション), 竹林 洋一(静岡大)                  ※当日の情報保障については、<a href="http://hal.cs.inf.shizuoka.ac.jp/wss/">http://hal.cs.inf.shizuoka.ac.jp/wss/</a>をご参照ください。                  ※このセッションについては、障害者手帳所持者とその介助者1名については参加無料と致しますので大会総受付にてその旨お申し出ください。</p>
教育シンポジウム(1)	<p><b>理工系情報専門学科学生の実力は? : 達成度調査の結果と分析</b>                  9日(木)14:30-17:00 第2イベント会場[高層棟 6F 0652 教室]                  14:30-14:35 オープニング:「シンポジウムの趣旨説明」 笈 捷彦(早大)                  14:35-15:00 講演(1):「達成度調査についての報告」 角田 博保(電通大)                  15:00-15:15 講演(2):「カリキュラム検討の立場からの意見」 疋田 輝男(明大)                  15:15-15:30 講演(3):「アクレディテーション審査を行う立場からの意見」 牛島 和夫(九産大)                  15:30-15:45 講演(4):「JABEE認定校(情報分野)からの意見」 掛下 哲郎(佐賀大)                  15:45-16:00 講演(5):「産業界からの意見」 有賀 貞一(CSK)                  16:00-17:00 総合討論                  司 会:笈 捷彦(早大)                  パネリスト:有賀 貞一(CSK), 牛島 和夫(九産大), 角田 博保(電通大), 掛下 哲郎(佐賀大), 疋田 輝男(明大)</p>
教育シンポジウム(2)	<p><b>高校の「情報科」教員養成における課題                  —企業・社会と高校のギャップ、教員養成制度と教員採用のギャップ—</b>                  10日(金)9:00-12:00 第2イベント会場[高層棟 6F 0652 教室]                  9:00-9:30 講演(1):「情報科の教員養成に関わって(1)」 辰己 丈夫(農工大)                  9:30-10:00 講演(2):「高等学校における現状と課題」 小原 格(都立町田高校)                  10:10-10:40 講演(3):「情報科の教員養成に関わって(2)」 和田 勉(長野大)                  10:40-10:55 意見発表:「高等学校の情報科教員をめざす大学新卒者の立場から」 下村 幸子(信州大)                  10:55-11:25 講演(4):「社会人として必要な情報分野の資質と高校における情報教育」 大久保 昇(内田洋行)                  11:25-12:00 パネル討論:「大学の役割と高校の役割と政府・行政の役割」                  司 会:立田 ルミ(獨協大)                  パネリスト:大久保 昇(内田洋行), 小原 格(都立町田高校), 下村 幸子(信州大), 辰己 丈夫(農工大), 和田 勉(長野大),</p>
教育シンポジウム(3)	<p><b>大学の一般情報処理教育のあり方について —2006年問題を考える—</b>                  10日(金)14:30-17:30 第2イベント会場[高層棟 6F 0652 教室]                  14:30-15:00 基調講演(1):「企業から見た大学の一般情報処理教育への期待」 駒谷 昇一(NTTソフトウェア)                  15:00-15:30 基調講演(2):「早稲田大学における一般情報処理教育」 楠元 範明(早大)                  15:30-15:50 調査報告:「2006年問題に対する大学の対応状況」 河村 一樹(東京国際大)                  16:00-17:30 パネル討論:「大学等における一般情報処理教育のあり方」                  司 会:河村 一樹(東京国際大)                  パネリスト:楠元 範明(早大), 駒谷 昇一(NTTソフトウェア), 竹村 治雄(阪大)</p>

■聴講参加費・講演論文集代(税込)

申込種別	予約価格(2/10迄)	定価
大会聴講参加費(正会員)	3,000円	3,000円
大会聴講参加費(正会員)*CD-ROM付き	8,000円	8,000円
大会聴講参加費(一般非会員)	6,000円	6,000円
懇親会参加費一般(正会員・一般非会員)	4,000円	5,000円
懇親会参加費学生(学生会員・学生非会員)	2,000円	3,000円
講演論文集分冊	7,000円	9,000円
講演論文集セット*CD-ROM枚付き	35,000円	43,000円
講演論文集CD-ROM	7,000円	7,000円
送料	セットおよびセット冊数以下	---
	セット冊数以上	---
	CD-ROM1枚につき	500円

■問合せ先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 社団法人情報処理学会 事業部門  
 電話 (03) 3518-8373, FAX (03) 3518-8375  
 e-mail: jigyvo@ipsj.or.jp

■留意事項

※学生の大会聴講参加費は無料です。  
 ※講演論文集、CD-ROM共に事前発送は致していません。  
 受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。  
 ※講演論文集またはCD-ROMを郵便で受け取る場合には別途送料がかかります。  
 ※懇親会は、3月8日(水)18:30から会場内中層棟 7F 0722 学生食堂にて開催の予定です。

■聴講参加および講演論文集のお申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

**第68回全国大会公式サイト** <http://www.ipsj.or.jp/10jigyotaikai/68kai/>

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。  
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
 \* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

# 学生会員のみなさまへ

平成17年度研究会の中から  
無料で1件登録できます！

今すぐ  
チェックして  
申し込みよう！



<平成17年度研究会一覧>



## お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。  
無料申請は1件のみです。



事務局へ FAX (03-3518-8375)

年 月 日

会員番号

フリガナ  
氏 名

## お問合せは

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-5

化学会館 4F

(社)情報処理学会 研究部門 調査研究担当

Tel(03)3518-8372 (研究部門直通)

Fax(03)3518-8375 (共通)

E-mail:sig@ipsj.or.jp

データベースシステム
ソフトウェア工学
計算機アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム
システム LSI 設計技術
ハイパフォーマンスコンピューティング
プログラミング
アルゴリズム
数理モデル化と問題解決
マルチメディア通信と分散処理
ヒューマンインタフェース
グラフィクスと CAD
情報システムと社会環境
情報学基礎
オーディオビジュアル複合情報処理
グループウェアとネットワークサービス
分散システム/インターネット運用技術
デジタル・ドキュメント
モバイルコンピューティングとユビキタス通信
コンピュータセキュリティ
高度交通システム
高品質インターネット
システム評価
ユビキタスコンピューティングシステム
自然言語処理
知能と複雑系
コンピュータビジョンとイメージメディア
コンピュータと教育
人文科学とコンピュータ
音楽情報科学
音声言語情報処理
電子化知的財産・社会基盤
ゲーム情報学
エンタテインメントコンピューティング
バイオ情報学

詳しくはこちら  
Webからも申し込みます



<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>

ITText 一般教育シリーズ  
情報とコンピューティング

河村一樹 編著  
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ  
情報と社会

駒谷昇一 編著  
A5判/220頁/本体2,500円(税別)



好評既刊書

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著  
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著  
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著  
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著  
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著  
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著  
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著  
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著  
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

新刊!!

ITText 分散処理

谷口 秀夫 編著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著  
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修・松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著  
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著  
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著  
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著  
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著  
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著  
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

IT Text ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著  
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著  
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著  
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

# 情報処理学会著作権規程

平成 12 年 4 月 1 日制定  
平成 13 年 6 月 20 日改訂  
平成 16 年 11 月 30 日改訂

情報処理学会は、研究論文等の印刷、配布又は Web 送信など、投稿者及び他の会員や社会の期待に応えるサービスを、情報処理学会の名声と権威にふさわしい質を維持しながら提供する必要がある。しかも、このサービスは将来予想される新技術や会員/社会のニーズの変化に柔軟に対応しつつ、安全かつ継続して提供できねばならない。

そのためには、情報処理学会が自己の名義の下で公表する著作物の著作権に関する取り扱いを明確にする必要がある。この規程ではかかる著作物の著作権を情報処理学会に譲渡してもらうことを原則とするものの、それによって著者ができるだけ不便を被らないよう配慮する。

## (この規程の目的)

第 1 条 この規程は、本学会に投稿される論文等（本学会発行の出版物に投稿される論文、解説記事等及び本学会に投稿される研究報告、シンポジウム・全国大会・本学会が主催又は共催する国際会議などの予稿、プロシーディングス原稿等を含む。以下あわせて論文等という。）に関する著作者・投稿者（以下あわせて「著作者」という。）の著作権の取り扱いに関して取り決めるものである。

## (著作権の帰属)

第 2 条 本学会に投稿される論文等に関する国内外の一切の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定するすべての権利\*を含む。以下同じ。）は本学会に最終原稿が投稿された時点から原則として本学会に帰属する。

2. 特別な事情により前項の原則が適用できない場合、著作者は投稿時にその旨を投稿窓口あてに文書にて申し出るものとする。その場合の著作権の扱いについては著作者と本学会との間で協議の上措置する。

3. 本学会の出版物に投稿された論文等が本学会の出版物に掲載されないことが決定された場合、本学会は当該論文等の著作権を著作者に返還する。

## (不行使特約)

第 3 条 著作者は、以下各号に該当する場合、本学会と本学会が許諾する者に対して、著作者人格権を行使しないものとする。

- (1) 翻訳及びこれに伴う改変
- (2) 電子的配布に伴う改変
- (3) アブストラクトのみ抽出して利用
- (4) 前各号の他の利用に伴う改変

## (第三者への利用許諾)

第 4 条 第三者から著作権の利用許諾要請があった場合、本学会は本学会理事会において審議し、適当と認めたものについて要請に応ずることができる。また、利用許諾する権利の運用を理事会の承認を得て外部機関に委託することができる。

2. 前項の措置によって第三者から本学会に対価の支払いがあった場合には、本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

## (著作者の権利)

第 5 条 本学会が著作権を有する論文等の著作物を著作者自身がこの規程に従い利用することに対し、本学会はこれに異議申し立て、もしくは妨げることをしない。

2. 著作者が著作物を利用しようとする場合、著作者は本学会に事前に申し出を行った上、本学会の指示に従うとともに利用された複製物あるいは著作物中に本学会の出版物にかかる出典を明記することとする。ただし、元の論文等を 25% 以上変更した場合には、この限りではない。また、3 項、5 項にかかわる利用に関しては事前に申し出ることなく利用できる。

3. 論文等のうち、本学会が査読の上論文誌（ジャーナル及びトランザクション。以下同じ。）への採録を決定して最終原稿を受領したもの及び会誌記事については、著作者は他の学会に投稿することはできない。なお、論文等のうち、研究報告、シンポジウム予稿、全国大会予稿、国際会議予稿、及びプロシーディングス原稿（以下「研究報告等」という。）については、研究の途中成果とみなし、著作者が当該研究報告等を研究の最終成果物とするため他学会等へ投稿する（以下「論文文化投稿」という。）ことに対して、本学会は本学会が著作権を保有していることを理由に著作者および他学会等に対して異議申し立てを行わない。

4. 著作者が論文文化投稿をするにあたり、著作権の返還を本学会に申請した場合、本学会は、当該著作者の申請が正当な理由によるも

のと認めるときは、当該研究報告等の著作権を著作者に返還する。ただし、当該著作者は、当該研究報告等に関し、本学会の運営上必要となる事項（第三者への複製許諾、学会が作成する Web サイト、CD-ROM 等への論文掲載等）を本学会が継続して実施できるよう、本学会に対して当該研究報告等にかかる著作権の利用許諾を行うものとする。なお、当該利用許諾については投稿先の学会等に事前に通知するものとし、本学会へ利用許諾を行ったことにより投稿先の学会等との間に紛争が生じた場合は、本学会は当該著作者と協力して、解決を図るものとする。

5. 著作者は、投稿した論文等について本学会の出版物発行前後にかかわらず、いつでも著作者個人の Web サイト（著作者所属組織のサイトを含む。以下同じ。）において自ら創作した著作物を掲載することができる。ただし、掲載に際して「情報処理学会倫理綱領」に則ること、ならびに本学会の出版物にかかる出典（当該出版物が発行された場合）及び利用上の注意事項\*\*を明記しなければならない。

## (例外的取り扱い)

第 6 条 他の学会等との共催行事に投稿される論文等の著作権について別段の取り決めがあるときは、前各条にかかわらず、当該取り決めがこの規程に優先して適用されるものとする。

## (著作権侵害および紛争処理)

第 7 条 本学会が著作権を有する論文等に対して第三者による著作権侵害（あるいは侵害の疑い）があった場合、本学会と著作者が対応について協議し、解決を図るものとする。

2. 本学会に投稿された論文等が第三者の著作権その他の権利及び利益の侵害問題を生じさせた場合、当該論文等の著作者が一切の責任を負う。

## (発効期日)

第 8 条 この規程は平成 12 年 4 月 1 日に遡って有効とする。なお、平成 12 年 4 月 1 日より前に投稿された論文等の著作権についても、投稿者から別段の申し出があり、本学会が当該申し出について正当な事由があると認めた場合を除き、この規程に従い取り扱うものとする。

## \*以下の権利を含む：

複製権（第 21 条）、上演権及び演奏権（第 22 条）、上映権（第 22 条の 2）、公衆送信権等（第 23 条）、口述権（第 24 条）、展示権（第 25 条）、頒布権（第 26 条）、譲渡権（第 26 条の 2）、貸与権（第 26 条の 3）、翻訳権、翻案権等（第 27 条）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利（第 28 条）。

## \*\*利用上の注意事項の例：

ここに掲載した著作物の利用に関する注意

本著作物の著作権は（社）情報処理学会に帰属します。本著作物は著作権者である情報処理学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては「著作権法」ならびに「情報処理学会倫理綱領」に従うことをお願いいたします。

## Notice for the use of this material

The copyright of this material is retained by the Information Processing Society of Japan (IP SJ). This material is published on this web site with the agreement of the author (s) and the IP SJ.

Please be complied with Copyright Law of Japan and the Code of Ethics of the IP SJ if any users wish to reproduce, make derivative work, distribute or make available to the public any part or whole thereof.

All Rights Reserved, Copyright (C) Information Processing Society of Japan.

Comments are welcome. Mail to address editj@ipsj.or.jp, please.

## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
  - a) 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
  - b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格  
原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
  - 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
  - 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
  - 3) 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
  - 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。
4. 原稿の取扱い  
投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会/応募先 (社)情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

### ■ 各種問合せ先 ■

(社)情報処理学会(本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	edit@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp		国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

# ご意見をお寄せください！

【1月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4612.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. (            )            -
3. E-mail:
4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ ..... 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9-
10. 今月号 (2005年12月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a…大変参考になった b…よい c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない ]  
特集：医療のためのデジタルヒューマン技術  
1. 総論：医療のためのデジタルヒューマン技術 ..... 10-1-  
2. 患者の心理・生理・物理モデル ..... 10-2-  
3. 生体力学シミュレーションのためのボクセル人体モデルの開発 ..... 10-3-  
4. リハビリ向けの歩行シミュレーション ..... 10-4-  
5. 腰椎モデルと屍体実験の補完的連携 ..... 10-5-  
6. インシリコヒューマン ..... 10-6-  
7. 手術ロボットの開発動向 ..... 10-7-  
8. 3次元人体 FEM モデルを用いた衝撃による頸部挙動解析と傷害予測 ..... 10-8-  
9. 乳幼児事故予防のための日常行動モデリング ..... 10-9-  
私の情報整理術：自分について考えるツール ..... 10-10-  
情報技術関連のスキル標準と人材育成 ..... 10-11-  
Haskell プログラミング：対戦型  $n$  目並べ ..... 10-12-  
情報技術と医療：アジア遠隔医療プロジェクト ..... 10-13-  
アメリカ IT まわりの話題：クリスマスシーズン ..... 10-14-  
日本の IT 事情：IT 研究開発に夢とビジョンを！ ..... 10-15-  
20 世紀の名著名論：Robin Milner : A Proposal for Standard ML ..... 10-16-  
20 世紀の名著名論：Charles W. Bachman : The Programmer as Navigator ..... 10-17-  
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマ、また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマなどありましたらお書きください。

医療のためのデジタルヒューマン技術の特集を企画いたしました。2001年に、CMUの金出先生がデジタルヒューマン研究センターを立ち上げました。2001年というのは、ちょうど海外でも「Digital Human」という用語が使われ始めた頃で、米国自動車技術会(SAE)が主催する「Digital Human Modeling for Design and Engineering Conference」という国際会議もこの少し前にスタートしています。2003年以降、国内でもデジタルヒューマン技術という枠組みが徐々に認識され、国内学会のオーガナイズドセッションや学会誌の特集で「デジタルヒューマン」が取り上げられるようになってきました。2003年頃から日本機械学会、日本ロボット学会など機械情報系での特集やセッションが増え、2005年にはコンピュータビジョン系へと

波及してきました。対象である人間の機械構造と機能をモデル化する関心が、人間特性をモデルパラメータとして獲得するビジョン技術へと拡大してきた現れです。そして、獲得され蓄積された膨大な人間特性パラメータを情報処理する技術へと関心の輪が広がる中で、今回の特集が企画されたということになります。執筆をお願いいたしました先生方は、各自の専門分野で以前から人間構造・機能のモデル化や可視化に関する研究をしておられたわけですが、情報処理とデジタルヒューマンという切り口での技術交流の機会は少なかつたかと思えます。これを機に、デジタルヒューマン研究の交流と関心の輪が広がっていくことを期待しております。

(持丸正明/本特集エディタ)

次号(1月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」マルチコアにおけるソフトウェア

イントロダクション・マルチプロセッサからマルチコアプロセッサへ/マルチコアにおけるプログラミング/マルチコアにおけるメディアアプリケーションの構築/組み込みマルチコアプロセッサのソフトウェアプラットフォーム/ヘテロマルチコアプロセッサ Cell 上でのスレッド実行環境/マルチコア用リアルタイム OS

招待講演

第67回全国大会(2005年3月) 招待講演: John Atanasoff - The Electronic Prometheus ..... Blagovest Sendov

解説

Linuxのミッションクリティカルシステムへの適用 ..... 真鍋義文

委員会から

IFIP近況報告 ..... 白鳥則郎

連載 Haskell プログラミング

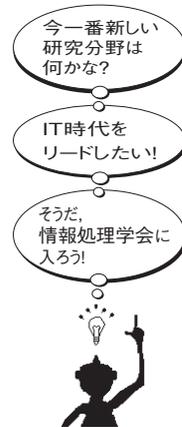
コラム アメリカ IT まわりの話題/情報技術と医療/20世紀の名著名論/日本のIT事情/私の情報整理術

# 会員募集中!!

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、  
あなたのお役に立ちます。

詳しくはWebサイト <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



複写される方に

℞ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

<http://www.copyright.com>

## 掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 <sup>※</sup>	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ  
お名前

\_\_\_\_\_

勤務先

所属部署

\_\_\_\_\_

所在地

(〒       -       )

TEL (       )

-

FAX (       )

-

\_\_\_\_\_

ご専門の分野

\_\_\_\_\_

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会  
 発行部数 30,000 部  
 体裁 A4 判  
 発行日 毎当月 15 日  
 申込締切 前月 10 日  
 原稿締切 前月 20 日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm  
           1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm  
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

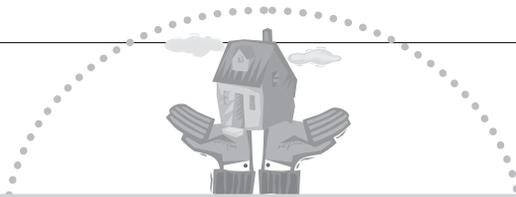
### ■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

\* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

\* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

\* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (15口以上)



株式会社NTTデータ  
(株) NTT データ

### ●●● 賛助会員 (10～14口)



NTTコムウェア  
NTTコムウェア(株)



日本アイ・ビー・エム(株)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所



富士通(株)

**Microsoft**

マイクロソフト(株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機(株)

(株) NTTドコモ / (株) 東芝

日本電気(株) / 日本電信電話(株) / 船井電機(株)

### ●●● 賛助会員 (3～5口)

**OKI**

沖電気工業(株)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

松下電器産業(株)

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375